

第27回

全日本高校・大学生書道展

— 学生書道のグランプリ —

作品募集要項

- ◆ 作品受付 2022年6月15日 締め切り (15日消印有効)
- ◆ 成績発表 2022年7月27日 発表予定 (午後4時 ホームページにて)
- ◆ 会期 2022年8月23日 — 8月28日
- ◆ 会場 兵庫県民会館 1階・2階・11階 (兵庫県神戸市・無料)

この展覧会は、世界に誇る優れた伝統文化である「書」の発展と次代を担う若者の育成を願い1996年(平成8年)に第1回展を開催し、今年第27回展を迎えます。学生対象の公募展として最高水準を誇る本展には毎年数多くの作品がよせられ、年齢や学年にかかわらず優れた作品を「学生書道のグランプリ」として選出し、陳列、表彰しています。

お問い合わせ・資料請求・作品送付先

全日本高校・大学生書道展事務局

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7F 公益社団法人 日本書芸院内
tel 06-6945-4501 fax 06-6945-4505 E-mail info@nihonshogeiin.or.jp

必要資料はホームページからダウンロードできます(4月1日より)
<https://www.nihonshogeiin.or.jp/>

- 主催 公益社団法人 日本書芸院・読売新聞社
- 協力 あかしや、一休園、カタナヤ蒼頡菴、久保田号、クリモト、呉竹、賛交社、松魁堂、松椋園、松林堂、雪江堂大阪、高山草月堂、天義堂、天山、平助筆復古堂、墨運堂、みなせ筆本舗 (副賞ご協力業者・50音順)

《お願い》 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、今後変更となる場合もございます。ご出品いただく前に日本書芸院ホームページで必ず最新の情報をご確認ください。

作品募集要項

◆出品資格 高校・大学の在籍者など中学校卒業以上 25 歳までの生徒・学生あるいは進学準備中の方（令和 4 年 6 月 15 日 作品受付締切時）

◆部門 1. 漢字（臨書作品も可） 2. かな（臨書作品も可） 3. 調和体 4. 篆刻（模刻も可、印影のみ）
※各部門 1 人 1 点で 1 人最高 4 点の出品可、ただし同一部門複数出品は認めない

◆作品規定 出品できる作品の形式、寸法、部門は次の通り

種別	形式	仕上がり寸法（額寸法）	本紙寸法の参考例（推奨）	本紙最大寸法	該当部門
第 1 種	A 縦横自由	2×8 尺（約 60×240 cm）	53×227 cm	58×238 cm	漢字 かな 調和体
	B 縦横自由	2.6×6 尺（約 78×180 cm）	70×167 cm／53×167 cm／60×179 cm	76×179 cm	
	C 四角	4×4 尺（約 120×120 cm）	109×109 cm	118×118 cm	
第 2 種	縦横自由	2.4×5 尺（約 72×150 cm）	70×135 cm／53×135 cm（全紙・聯落）	70×148 cm	
第 3 種	縦のみ	1×1.3 尺（約 30×39 cm）	ヨコ 21×タテ 30 cm（A4 タテ）	ヨコ 28×タテ 36 cm	篆刻

※半切や半紙での出品は出来ない

※作品本紙の寸法は上記規定の「本紙寸法の参考例（推奨）」を基本とし、それ以上に大きくなる場合は必ず上記規定の「本紙最大寸法」以内とすること

※作品は未発表のもので、表装をせず書き下ろしとする

※第 2 種は半切 2 幅での出品はできない 全紙及び聯落サイズのみとする（ただし、半切 2 幅を全紙サイズに継いだものは全紙として受け付ける やむを得ず半切 2 幅を使用して第 2 種として出品する場合、半切 1 幅目の左側と 2 幅目の右側をデンプン糊で 5mm 程度の幅で貼り付け、全紙 1 枚と同じ体裁にして出品すること）

※仮名の臨書作品など小品が複数枚となる場合は、上記参考例の紙に作品をデンプン糊で剥がれ落ちないように仮止めすること

※作品はつとめて保護するが不可抗力による破損については責任を負わない

◆出品料 無料

◆作品受付 受付期間：2022 年 **6 月 15 日**（水）まで ※15 日消印有効

送付先：全日本高校・大学生書道展事務局

送付物：1. 出品票（作品 1 点につき 1 枚必要）

2. 作品

3. 受付台帳

4. 集計表（1 団体につき 1 枚必要 個人で出品される場合も必ず提出すること）

5. 複数部門出品者申請用紙（複数部門出品者が 20 名を超える団体のみ提出すること）

※一度受け付けた作品は返却しない（ただし入賞作品は除く）

※集計表に記載する「作品とりまとめ代表者」の住所は日本国内に限る

◆審査員 黒田賢一・高木聖雨・星 弘道（日本藝術院会員）

高木厚人・土橋靖子・中村伸夫・真神巍堂・山本悠雲・吉川美恵子

読売新聞東京本社取締役事業局長 ・ 読売新聞大阪本社取締役事業本部長

◆審査及び賞 1. 全作品を審査のうえ、次の賞を授与

(1) 全日本高校・大学生書道展大賞（大賞）・・・賞状・賞品・図書カードを授与 若干名

(2) 全日本高校・大学生書道展賞（展賞）・・・賞状・賞品・図書カードを授与 若干名

(3) 優秀賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・賞状・図書カードを授与

(4 賞外作品) 準優秀作品

(5 賞外作品) 優良作品

※大賞・展賞受賞作品（約 400 点の予定）は兵庫県民会館に陳列する（優秀賞は陳列しない）

※日本書芸院発行の「高大展新聞」に大賞作品を掲載し、大賞受賞者に郵送する（12 月の予定）

※成績証明書の希望者は住所・出品者名・賞名を明記のうえ、84 円切手を同封し事務局まで申し込むこと（ただし、優秀賞以上に限る）

※入賞作品（大賞・展賞・優秀賞）を除き、一度受け付けた作品は返却しない
※大賞作品は展覧会終了後、大賞受賞者全員に返却する（無料、額は付かない）
※展賞作品・優秀賞作品は実費負担（1点につき2,000円）で希望者に返却する（額は付かない）
2022年9月25日までに申し込むこと なお、申込方法の詳細は成績通知に同封するとともに、
日本書芸院ホームページにも掲載する

2. 成績優秀校に団体賞を授与

- (1) 最優秀校・・・・・・・・・・・・ 2校 高校の部・大学の部 各1校 賞状・盾を授与
- (2) 優秀校（第2位・第3位）・・ 4校 高校の部・大学の部 各2校 賞状・盾を授与
- (3) 第4位～第10位・・・・・・・・ 14校 高校の部・大学の部 各7校 賞状を授与

※選考はポイント制、出品点数によるポイントと審査結果によるポイントの合計ポイントで決定する

○出品点数によるポイント

出品点数10点につき1ポイント、ただし上限を200点・20ポイントとする
200点を超過して出品しても20ポイント以上の得点にはならない

○審査結果によるポイント

大賞受賞1点で20ポイント、展賞受賞1点で5ポイント、優秀賞受賞1点で3ポイント

※書道団体、任意のグループで出品しても、団体賞は出品者個人の在籍校で集計する

◆成績発表 2022年7月27日（水）午後4時 日本書芸院ホームページに掲載予定

1. 7月27日 午後4時 入賞者（大賞・展賞・優秀賞）を日本書芸院ホームページに掲載予定
2. 7月27日 集計表に記載の「作品取りまとめ代表者」宛に成績通知を発送予定（27日投函予定）
※個人出品の場合、出品者本人または保護者等が作品取りまとめ代表者となる
※電話による審査結果の問い合わせは出来ない
※8月5日（金）までに届かない時は事務局までご連絡ください
3. 団体賞受賞校の学校長宛に成績通知を送付
4. 8月中旬、読売新聞紙上（大阪本社版・夕刊）に入賞者名（大賞・展賞・優秀賞）を掲載
掲載の読売新聞は展覧会場・授賞式会場で配布、また大賞受賞者・作品返却を申し込まれた方へは作品に読売新聞を同封、展覧会終了後には日本書芸院会報に転載する
※地方版掲載の為、読売新聞社から入賞者へ取材があった場合にはご協力をお願いします

◆陳列 2022年8月23日（火）～28日（日）

兵庫県民会館 1階・2階・11階（無料）10:00～17:00（入館は16:30まで）

※大賞・展賞を陳列（約400点の予定）今回は優秀賞の陳列はありません

兵庫県民会館 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通4-16-3 tel 078-321-2131

※展覧会場を360度カメラで撮影し、VR（バーチャルリアリティ）会場としてWEBサイト上に公開する予定です。

◆授賞式 2022年8月28日（日）正午 ホテルオークラ神戸1F「平安」（北）で開催

※授賞式終了後、同1F「平安」（南）にて祝賀パーティーを開催

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 tel 06-6448-1121

■個人情報 第27回全日本高校・大学生書道展の出品者および作品取りまとめ代表者の個人情報は、報道機関などへの成績発表、日本書芸院会報等出版物およびホームページへの掲載、読売新聞社の取材資料、次回28回展のご案内、読売書法展のご案内、日本書芸院主催事業のご案内などに使用します

■著作権 著作権は著作者の死後70年まで保護される（ただし1967年以前に死亡した著作者は除く）著作権が保護されている著作物を作品の題材として利用する際の著作権者への申請・許諾等の手続きは、出品者・出品団体の責任において行うこと

■募集要項の規定に違反する行為が見つかった場合、「作品取りまとめ代表者」に連絡のうえ、つぎの措置をとる

1. 規定違反の作品は出品取り消しとする
2. 団体での規定違反は当然であるが、個人の規定違反であっても、審査員で構成する審査委員会が明らかに悪質と判断した場合は、個人の作品を出品取り消しとするだけでなく、その出品者が在籍する団体を団体賞の対象から外す、または団体全ての作品を出品取り消しとする場合がある また、このような場合は学校長に連絡し改善を求める
3. 規定違反の個人・団体は、次年度以降の出品を断る場合がある

出品票、受付台帳、集計表の記入について

出品票などの資料は必ず **楷書** で記入すること（簡体字は使用しないでください）

【 1. 出品票 ・ 2. 作品 】 今回から出品票の形式が変わりました。昨年のは使用しないでください。

- ・ 太枠内のみ記入漏れのないように記入すること
- ・ 雅号で出品する場合、出品者本名の欄に本名を記入すること
- ・ 進学準備中の場合、学校名は予備校名または「自宅学習中」と記入すること
- ・ 生年月日は年齢確認の為、必ず記入すること
- ・ 作品番号は「受付台帳」の作品番号と合わせること
- ・ 作品貼付用紙を出品票より切り離し作品に貼り付けること（右図参照）
- ・ 出品票は作品番号1を一番上にして作品番号順（受付台帳の記入順）に重ねること
- ・ 作品は作品番号1を一番上にして作品番号順（受付台帳の記入順）に重ねてから、まとめて折りたたむこと（1枚1枚折りたたまないこと）
- ・ 出品票及び作品は受付台帳の記入順と同一順にすること

ヨコ作品

タテ・角作品

ここで切り離し、作品貼付用紙は作品に貼り付ける

【 3. 受付台帳 】

- ・ 作品取りまとめ代表者が太枠内のみ記入すること
- ・ 受付台帳は5種類、作品寸法ごとに記入すること（1枚に50名記入できます）
 - ①第1種A ②第1種B ③第1種C ④第2種 ⑤第3種（篆刻のみ）
- ・ 作品番号は第1種A→第1種B→第1種C→第2種→第3種の順に、出品する総点数の通し番号を記入すること また作品番号は「出品票」の作品番号と合わせること
 - 例1：2×8尺24点、全紙13点、篆刻3点、合計40点出品する場合
 - ①作品番号は1～40となります
 - ②第1種Aの受付台帳に2×8尺作品の出品者名等を記入、作品番号は1～24（左記見本）
 - ③第2種・第3種の受付台帳にも同様にそれぞれ出品者名等を記入、作品番号は第2種25～37 第3種38～40
 - 例2：全紙のみ8点出品する場合
 - ①第2種の受付台帳に出品者名等を記入、作品番号は1～8となります。

【 4. 集計表 】

- ・ 作品取りまとめ代表者が太枠内に記入すること
- 作品取りまとめ代表者連絡先（成績通知等送付先）
 - ・ 学校へ成績通知等の送付を希望する場合は学校名まで正確に記入すること、個人出品の場合は出品者本人または保護者等の連絡先を記入すること（※夏休み中でも成績通知の受け取りが可能な日本国内の住所をご記入ください）
- 出品団体名（個人出品の場合、個人名）
 - ・ 1つだけ選んでレ点を付し（複数選択不可）、レ点を付した団体の正式名称を記入すること
 - ・ 日本書芸院所属会派にレ点を付した場合、出品団体名は集計表裏面の一覧から該当の会派名を選んで記入すること
 - ・ 高校生・大学生混合で出品する場合、高等学校や大学にレ点は付さないこと
 - ・ 団体賞は出品者の在籍校で集計するので、出品団体名が団体賞に影響することはありません
- 複数部門出品者
 - ・ 複数部門出品者がいる場合は、その内訳（複数部門出品者名、出品点数、作品番号）を記入すること

なお、複数部門出品者が20名を超える団体については、別途「複数部門出品者申請用紙」を事務局まで請求するか、日本書芸院のホームページよりダウンロードして、複数部門出品者の内訳を記入して提出すること

【 5. 複数部門出品者申請用紙 】 ・ 複数部門出品者が20名を超える団体のみ提出すること

1. 出品票（受付台帳の作品番号順に揃える）
2. 作品（作品貼付用紙を貼り付け、受付台帳の作品番号順に揃える）
3. 受付台帳
4. 集計表（1団体に1枚、個人出品の場合も必ず提出すること）
5. 複数部門出品者申請用紙（複数部門出品者が20名を超える団体のみ）を揃えてご出品ください